I·O DATA

Macintosh編

～ Macintoshでの設定 ～

～ Macintoshからの印刷 ～

インデックス部

IEEE802.11b無線LANプリントサーバ

WN-B11/PRS

97966-01

本製品が使用できるまでの流れ

本製品を使用するには、まず、管理者が本製品の設定を行う必要があります。
設定後、ユーザーは本製品を使用して印刷できるようになります。
以下のフローに沿って、必要な個所をお読みください。



参考

本書内では、本製品を管理する人を[管理者]、使用する人を[ユーザー]と呼んでいます。

管理者…本製品を管理・運営する人。
本製品の接続から設定のすべてを行います。
ユーザー…管理者が設定した本製品を使用する人。

本製品の設定（管理者のみ）

①本製品をプリンタに接続します。
・・・・・・・・【第1章 プリンタに接続する】(1ページ)
②設定ツールで本製品を設定します。
・・・・・・・・【第2章 設定する】(5ページ)

↓

パソコンから印刷する

①パソコンの設定や無線LANの設定を確認します。
②印刷します。
・・・・・・・・【第3章 印刷する】(53ページ)

もくじ

もくじ ····· i

第1章 プリンタに接続する ····· 1

本製品をプリンタに接続する ····· 2

第2章 設定する ····· 5

～ 設定用パソコンによる本製品の設定 ～

本製品の設定の手順 ····· 6

ステップ1 AirMacのバージョンを確認する ···· 8

ステップ2 AppleTalkの経由先を設定する ···· 9

ステップ3 AirMacの無線LANを設定する ····10

ステップ4 正常に通信できているかを確認する····14

テスト印字での確認 ····14

ステップ5 設定ツールをコピーする ·····16

ステップ6 本製品を設定する·····18

1. 設定画面を起動する·····18
2. TCP/IPを設定する ·····23
3. SNMPを設定する ·····25
4. EtherTalkを設定する(プリンタ名以外)·····26
5. プリンタ名を設定する ·····29
6. SMBを設定する·····33
7. 無線設定をする ·····37
8. 起動ディレイタイムを設定する ·····43
9. パラレルポートを設定する·····44
10. バージョン情報を確認する·····46
11. パスワードを変更する場合 ·····47

ステップ7 すべての設定を終了したら·····48

本製品を出荷時状態に戻す場合·····49

[TEST]ボタンで出荷時状態に戻す方法 ·····49

[設定ツール]で出荷時状態に戻す方法 ·····52

第3章 印刷する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

印刷するまでの設定の手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
ステップ1 AppleTalk対応プリンタを使用する際の注意点 ・・・・ 55
ステップ2 AppleTalkの経由先を設定する ・・・ 56
ステップ3 無線LANを設定する ・・・・・・・・・・・・・ 57
AirMacカードの無線LANを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・ 58
ステップ4 印刷するには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

付録 1 困ったときには・・・・・・・・・・・・・・・・ 65

付録 2 設定ツールを削除する場合 ・・・・・・・ 69

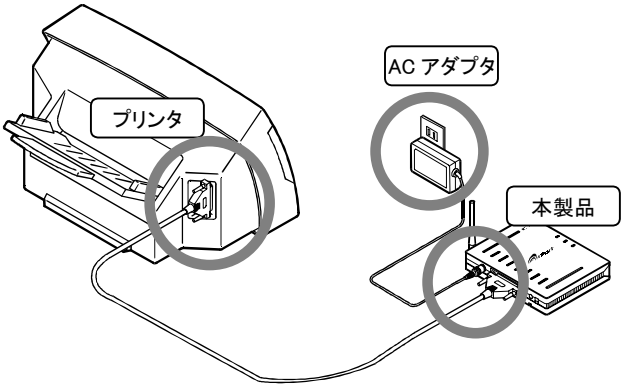
第1章

プリンタに接続する

この章では、本製品をプリンタに接続する手順を説明します。

この章で行うこと

本製品をプリンタに接続します。

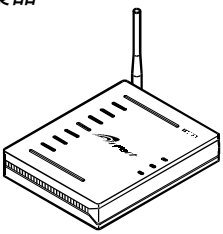


本製品をプリンタに接続する

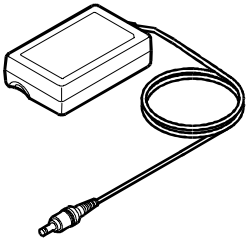
ここでは、本製品をプリンタに接続する手順について説明します。

用意するもの

・本製品



・ACアダプタ（添付品）



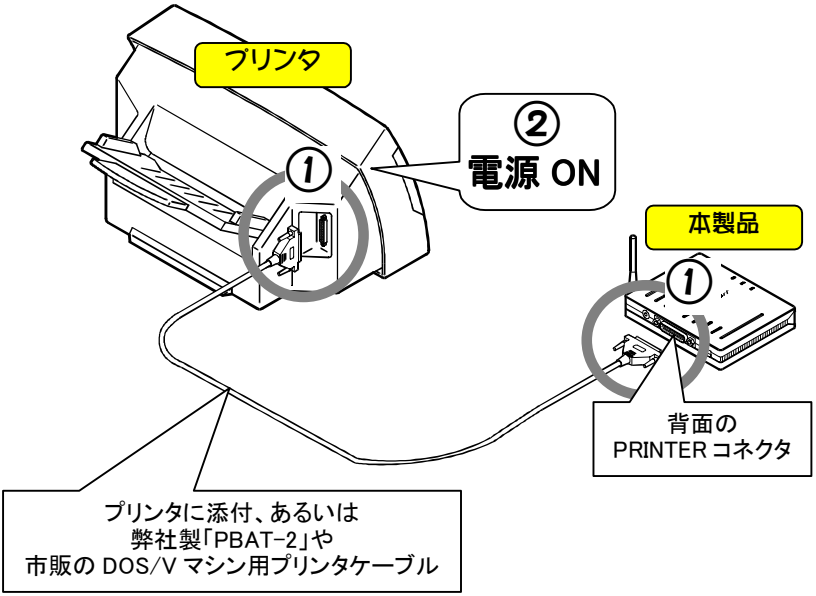
・プリンタおよびプリンタケーブル

プリンタおよびプリンタケーブルをご用意ください。
本製品とプリンタとの接続には、プリンタに付属のケーブルまたは、弊社製プリンタケーブル『PBAT-2』、あるいは市販のDOS/V用プリンタケーブルをお使いください。

接続する

1 プリンタの電源を切ります。

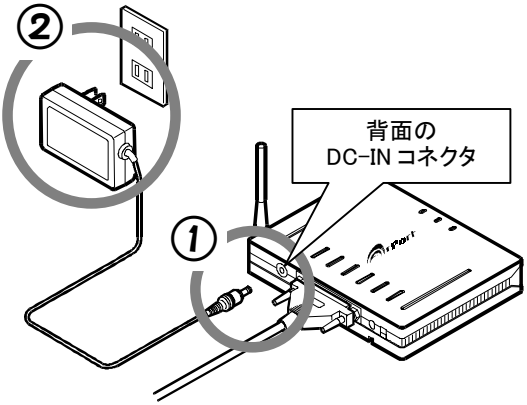
2 プリンタケーブルでプリンタと本製品を接続します。
接続後、プリンタの電源を入れます。



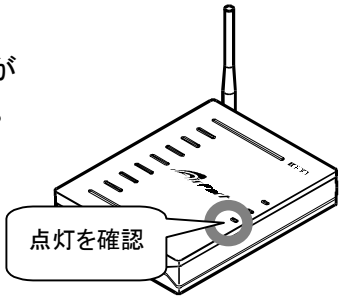
注意！

・電源を入れる際は、プリンタの電源を入れてから本製品の電源を入れてください。
・プリンタとの接続には、プリンタの取扱説明書も参照してください。

3 添付のACアダプタを本製品背面の[DC-IN]コネクタに接続後、電源コンセントに接続します。



4 本製品の[POWER]ランプ(緑色LED)が点灯していることを確認してください。



参考

ランプの表示については、別冊【ご使用になる前に】編の【各部の名称・機能を確認する】の項を参照してください。

以上で接続は終了です。

次ページ以降を参照して本製品の設定を行ってください。

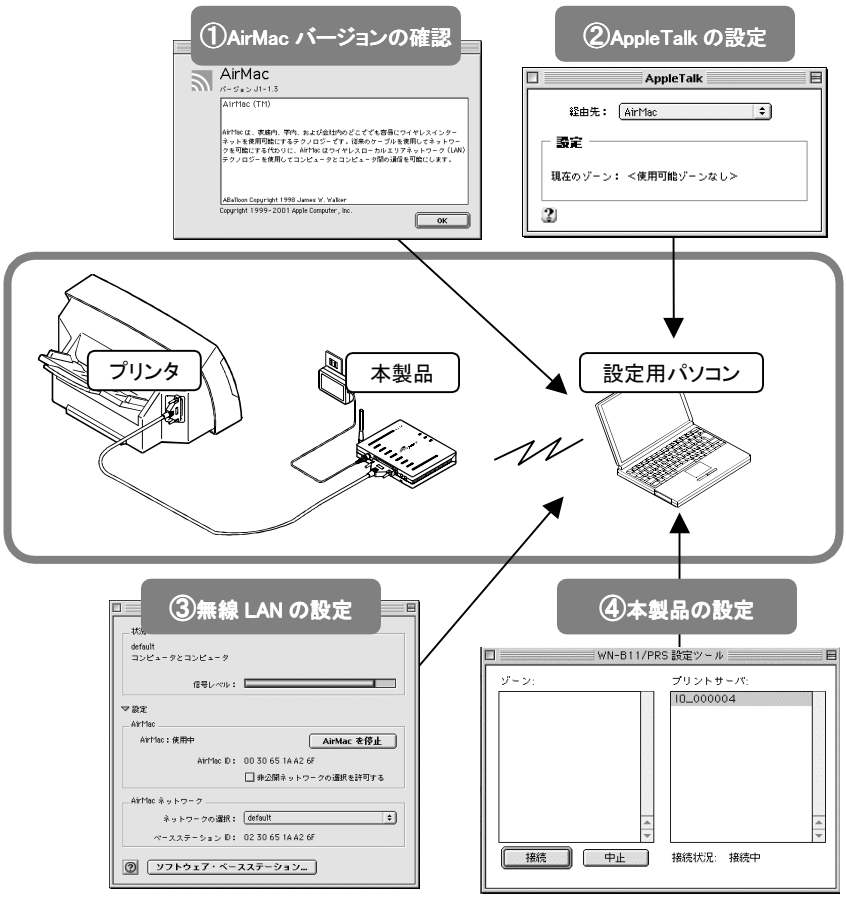
第2章

設定する

～ 設定用パソコンによる本製品の設定 ～

この章では、本製品を使用するための設定方法を説明します。
設定は、AirMacカードを装着したパソコン１台**（設定用パソコン）**から行います。

この章で行うこと



本製品の設定の手順

設定は、AirMacカードを装着したパソコン１台**（設定用パソコン）**から行います。まず、設定用パソコンに本製品を設定できるように設定した後、本製品を設定します。
以下のステップに従って、行ってください。

ステップ1 ……【AirMac のバージョンを確認する】(8 ページ)
設定用パソコンの AirMac のバージョンを確認します。

バージョンの確認



ステップ2 ……【AppleTalk の経由先を設定する】(9 ページ)
設定用パソコンの AppleTalk の経由先を設定します。

AppleTalk の設定



ステップ3 ……【AirMac の無線 LAN を設定する】(10 ページ)
AirMac の無線 LAN を設定します。

無線 LAN の設定



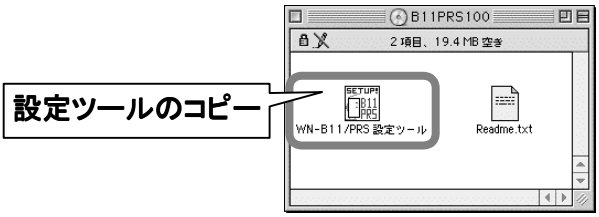
次ページへ

ステップ4 ……【正常に通信できているかを確認する】(14 ページ)

本製品のテスト印字機能で正常に通信できているかを確認します。

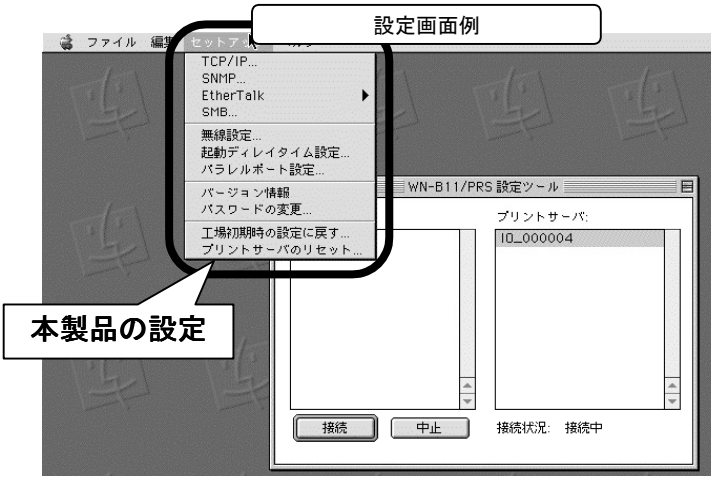
ステップ5 ……【設定ツールをコピーする】(16 ページ)

本製品を設定するための設定ツールを「サポートソフト」CD-ROM からコピーします。



ステップ6 ……【本製品を設定する】(18 ページ)

設定ツールを起動し、本製品をお使いのネットワーク環境に応じて設定します。



ステップ7 ……【すべての設定を終了したら】(48 ページ)

すべての設定を終了したら、［設定ツール］の［リセット］で本製品に設定を反映させます。

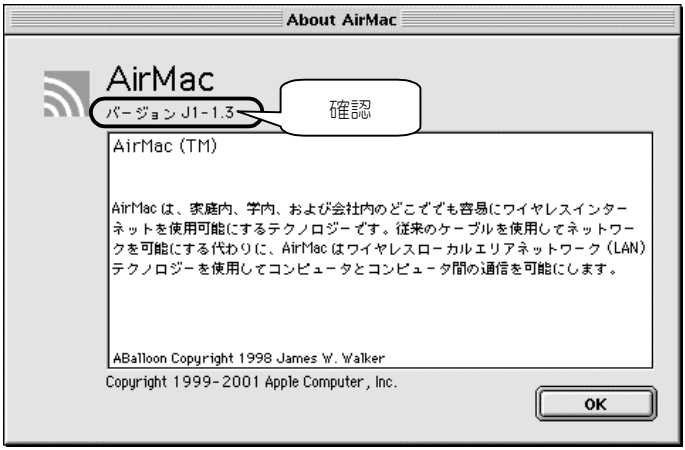
ステップ 1

設定用パソコンの準備①
AirMac のバージョンを確認する

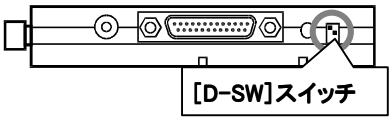
AirMacのバージョンにより、本製品背面の［D-SW］スイッチ設定が異なります。バージョン確認後、バージョンに応じた本製品の［D-SW］スイッチを設定してください。

AirMac バージョンに応じて[D-SW]を設定する

1 ［アップルメニュー］→［AirMac］をクリック後、
［アップルメニュー］→［AirMacについて］をクリックし、
AirMacのバージョンを確認します。

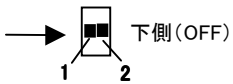


2 AirMacのバージョンに応じて
本製品背面の[D-SW]スイッチ
を設定します。



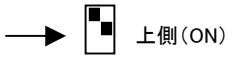
・バージョン1.2以前の場合

［D-SW］の2つのスイッチの内、左側（AirPortロゴ面を上にした場合）のスイッチ1を下（OFF）に下げます。



・バージョン1.3以降の場合

［D-SW］を出荷時から変更する必要はありません。



ステップ 2

設定用パソコンの準備②

AppleTalk の経由先を設定する

本製品を使用するには本製品の設定が必要ですが、まず、本製品を設定するパソコン(**設定用パソコン**)の［AppleTalk］の経由先を［AirMac］に設定する必要があります。

1 ［アップルメニュー］→［コントロールパネル］内の［AppleTalk］をクリックします。

2 ［経由先］に［AirMac］を選択します。



この後、次ページ【ステップ3】を参照して、AirMac の無線 LAN を設定してください。

ステップ 3

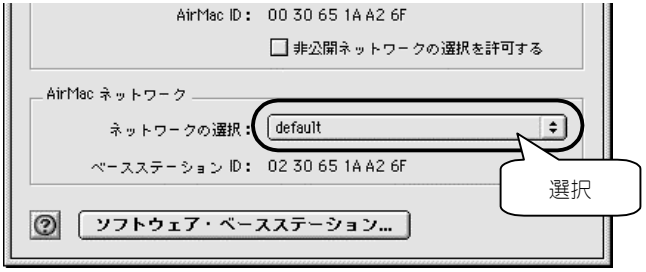
設定用パソコンの準備③
AirMac の無線 LAN を設定する

AirMacユーティリティで無線LANを設定します。

1 [アップルメニュー]→[AirMac]をクリックします。



2 [AirMacネットワーク]内の[ネットワークの選択]で[default]を選択します。





[default] を
選択できない場合は…

12 ページを
ご参照ください。

3 [状況]内に[default]、[コンピュータとコンピュータ]の表示があることを確認します。

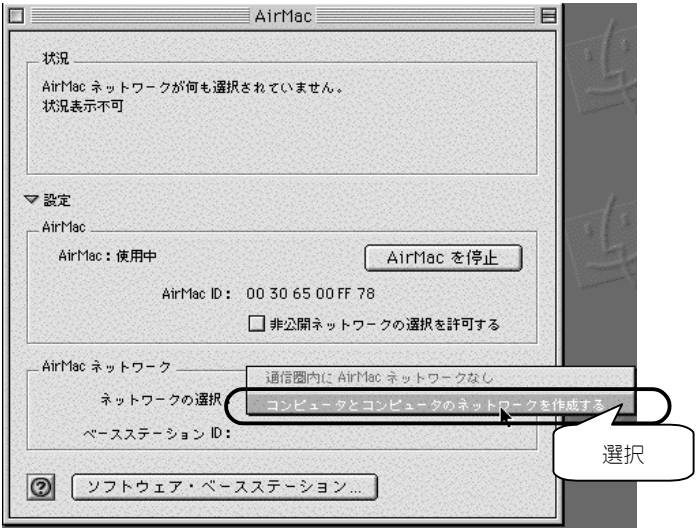


この後、【ステップ4】(14 ページ)を参照して、正常に通信できているかを確認してください。

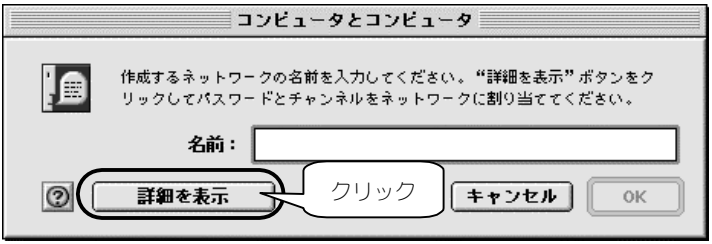
参考:[ネットワークの選択]で[default]を選択できない場合

[ネットワークの選択] で [default] が選択できない場合は、以下の手順で [AirMacネットワーク] に追加設定を行ってください。

1 [AirMacネットワーク]内の[ネットワークの選択]で[コンピュータとコンピュータのネットワークを作成する...]を選択します。

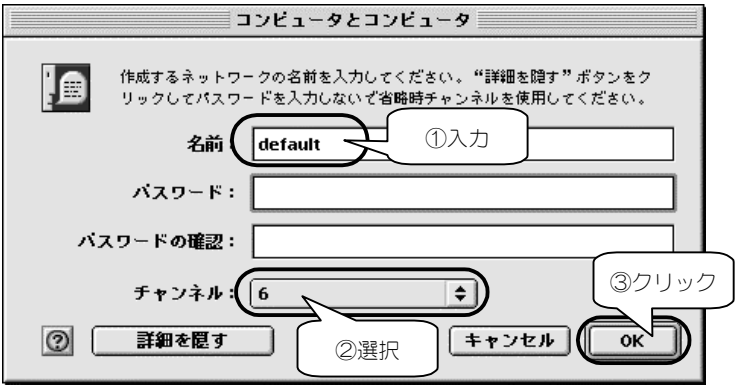


2 [詳細を表示]をクリックします。



3 以下の設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

名前	[default]を入力します。
チャンネル	[6]を選択します。



4 [状況]内に[default]、[コンピュータとコンピュータ]の表示があることを確認します。



この後、次ページ【ステップ4】を参照して、正常に通信できているかを確認してください。

ステップ 4

設定用パソコンの準備④
正常に通信できているかを確認する

前ページまでの【ステップ3】での設定が正しくないと本製品を設定することができません。
ここでは、本製品のテスト印字機能でパソコンと本製品が正常に通信できているかを確認します。

テスト印字での確認

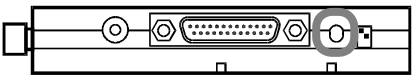
本製品の現在の状態をプリンタに印字するテスト印字機能で、パソコンと本製品が正常に通信できているかを確認することができます。

参考

・本製品のテスト印字機能は、本製品の現在の設定をプリンタに印字します。
ここでは、通信状態の確認について説明しますが、印字された設定内容の詳細については、別冊【リファレンス編】の【テスト印字】の項を参照してください。
・テスト印字では、A4 サイズ固定で印字されます。

1 本製品とプリンタが接続され、本製品およびプリンタの電源が入っていることを確認します。

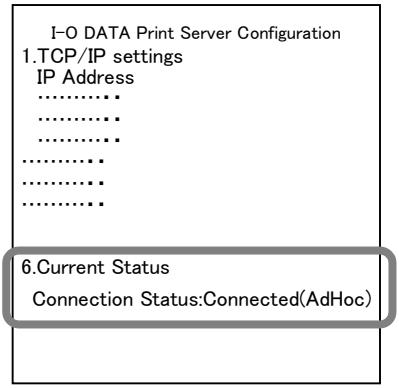
2 [STATUS]ランプが点灯するまで[TEST]ボタンを押します。



3 しばらくすると、プリンタから本製品の現在の設定を印刷した用紙が出力されます。

4

印刷された内容の
[6. Current Status]欄の
[Connection Status]の状態を
確認してください。



(正常な場合)

Connection Status:Connected(AdHoc)

(エラーの場合)

Connection Status:Searching



注意！

テスト印字を行った際、1 行目に文字が重なって印刷されますが、異常ではありません。また、この現象はテスト印字を行ったときのみです。



参考

本製品を工場出荷時の設定に戻した後、AirMac などから本製品と通信を行う前にテスト印字を行った場合、[6. Current Status]欄には何も印字されません。

次に本製品の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ
5

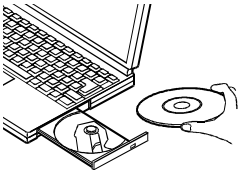
本製品の設定①
設定ツールをコピーする

前ページの【ステップ４】までで本製品の通信が正常にできることが確認できましたら、次に本製品を設定する「設定ツール」をパソコンにコピーします。（設定ツールは、添付の「サポートソフト」CD-ROM 内にあります。）

参考

Web ブラウザからでも本製品を設定することができます。詳細は別冊【リファレンス編】の【Web ブラウザから本製品を設定したい場合】の項を参照してください。

1 「サポートソフト」CD-ROM を CD-ROMドライブにセットします。



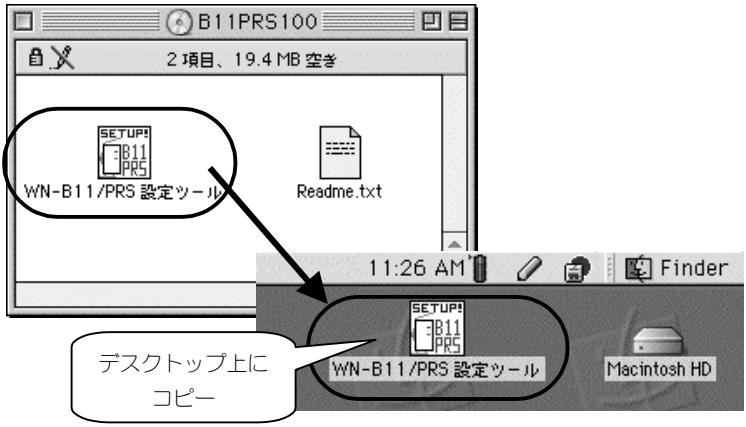
「サポートソフト」CD-ROM

2 表示された[B11PRSxxx]※アイコンをダブルクリックします。

※xxxにはサポートソフトのバージョンが表示されます。（以下の画面は、サポートソフトのバージョンが1.00の場合（「B11PRS100」）の例です。



3 表示された[WN-B11/PRS設定ツール]を
デスクトップ上にコピーします。



4 「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

次に設定ツールで本製品の設定を行います。次ページへお進みください。

ステップ 6

本製品の設定②
本製品を設定する

コピーした設定ツールで本製品を設定します。

1. 設定画面を起動する

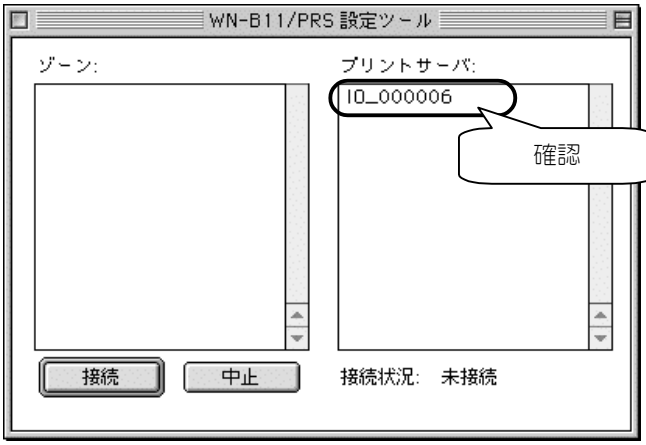
1 [WN-B11/PRS設定ツール]を
ダブルクリックします。



2 以下の設定メイン画面が表示されます。
[プリントサーバ]欄に本製品が表示されていることを確認します。本製品は、出荷時以下のように表示されます。

IO_xxxxxx

（xxxxxxは、本製品のMACアドレスの「00A0B0」の後の下6桁の数値です。MACアドレスは、本製品底面のラベル面に記載されています。）



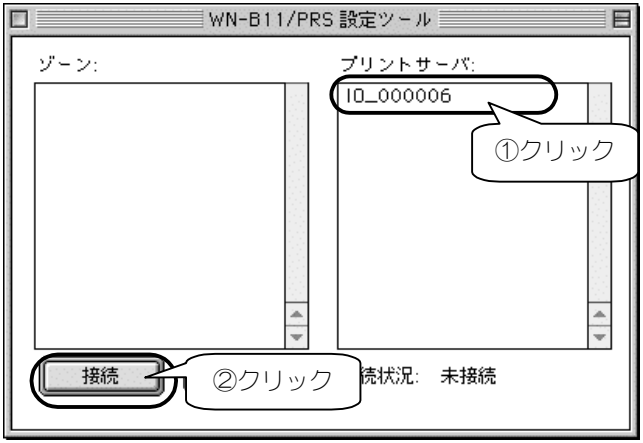


［プリントサーバ］欄に本製品が
表示されない場合は…

【困ったときには】の
67 ページを
ご参照ください。

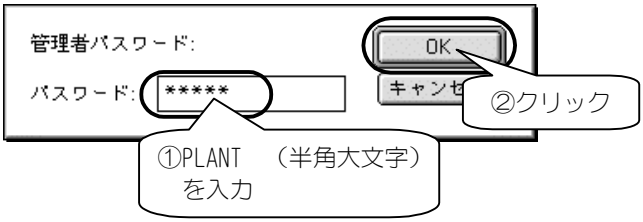
3 本製品([IO_xxxxxx])をクリック後、[接続]ボタンをクリックします。

※ネットワーク上に[ゾーン]が存在する場合は、本製品の属するゾーンを選択します。(工場出荷時の本製品はデフォルトゾーンに属します。デフォルトゾーンが不明な場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。)



4 以下のパスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックします。

PLANT (半角大文字)

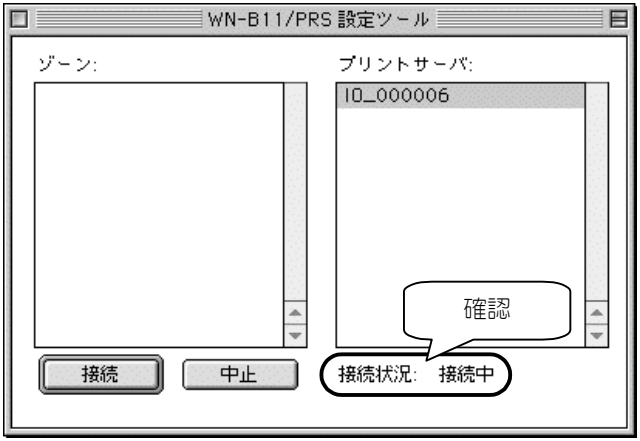




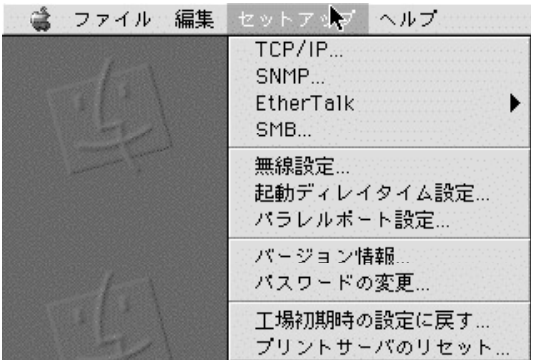
参考

[パスワード]は管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定することを防ぐためのものです。出荷時の[パスワード]は[PLANT]となっていますが、必要に応じて変更してください。変更方法は、47 ページを参照してください。

5 [接続状況:]欄が[接続中]になっていることを確認します。



6 次ページ以降で[セットアップ]メニューから各種設定を行います。

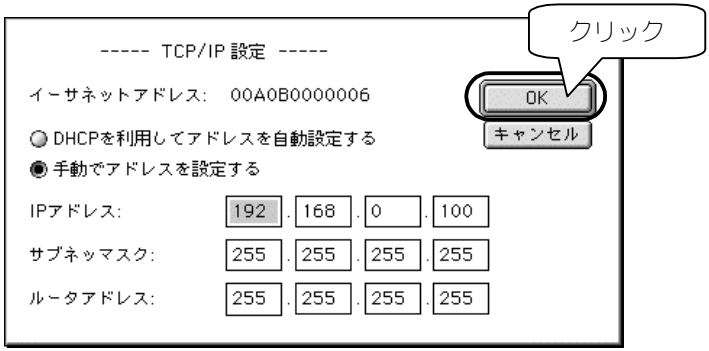


次ページへお進みください。

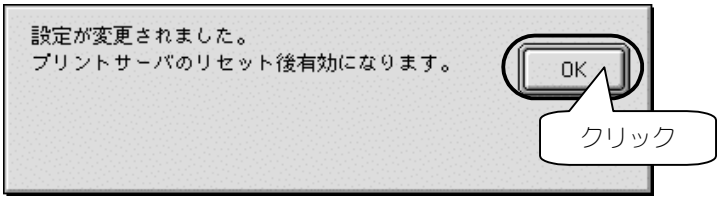
基本的な設定手順

ここでは、各設定項目を変更した後、本製品に設定を反映するまでの基本的な手順の流れについて説明します。

1 23 ページ以降の[セットアップ]メニュー項目([TCP/IP]、[SNMP]、[EtherTalk]、[SMB]、…)で設定が必要な項目をクリックし、変更後、[OK]ボタンをクリックします。
※変更の必要がない場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。



2 [OK]ボタンをクリックします。



3 [セットアップ]メニュー内のその他の項目([TCP/IP]、[SNMP]、[EtherTalk]、…)も同様に、変更後は同様に[OK]ボタンをクリック(*2*の手順)します。

4 すべての必要な変更を終了したら、
[セットアップ]メニューの[プリントサーバのリセット]をクリックします。



5 [OK]ボタンをクリックします。
本製品がリセットされます。



注意！

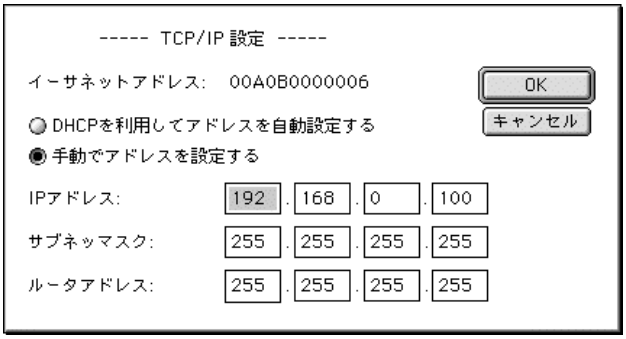
・設定を変更した後、[プリントサーバのリセット]でリセットしないと本製品に設定が反映されません。設定を変更した場合は必ず[プリントサーバのリセット]を実行してください。
・リセット後に再度本製品の設定を行う場合、「設定ツール」の画面を一度閉じ、再度[ファイル]→[開く]を選択して画面を表示させてください。
・リセット後、本製品が動作するまでに10秒以上かかります。
・Macintosh を再起動する必要はありません。

これで設定が本製品に反映されました。
基本的な設定手順は以上です。
実際に次ページ以降を参照して設定してください。

2. TCP/IP を設定する

[セットアップ]メニュー→[TCP/IP]では、本製品のIPアドレスなどを設定することができます。
ご使用のネットワーク環境に応じて設定してください。

なお、この設定は、Windowsパソコンから設定や印刷する際、また、Webブラウザから設定する際にのみ必要な設定です。本Macintosh用設定ツールでの設定と
Macintoshからの印刷しか行わない場合は特に設定の必要はありません。



・設定を変更しない場合

[キャンセル]ボタンをクリック後、25ページへお進みください。

・設定を変更した場合

設定後、[OK]ボタンをクリックします。
「設定が変更されました。……・」の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリック後、25ページへお進みください。

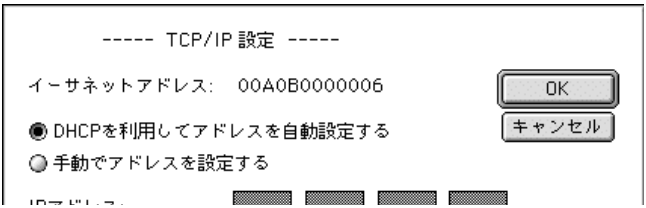
DHCPを利用してアドレスを自動設定する	DHCPサーバが存在する環境では、本製品のTCP/IP設定をDHCPサーバから取得することができるようになります。
手動でアドレスを設定する	本製品のIPアドレスを手動で設定することができるようになります。
IPアドレス	本製品を TCP/IP 環境で使用するためには、必ず設定する必要があります。 ただし、IPアドレスをDHCPサーバから取得する設定にした場合には、設定する必要はありません。

サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定できます。Windowsパソコンでルータを越えてTCP/IP通信（印刷）する場合には必ず設定してください。（※1）
ルータアドレス	本製品のゲートウェイアドレスを設定できます。Windowsパソコンでルータを越えてTCP/IP通信（印刷）する場合には必ず設定してください。（※1）

※1　本製品を利用してMacintoshからルータを超えて印刷することはできません。

DHCPをご利用になる場合の注意

[DHCP を利用してアドレスを自動設定する]に設定した場合は、DHCP サーバ（例：Windows 2000 サーバおよびWindows NT サーバなど）の設定時に本製品の IP アドレスを予約するようお薦めします。



DHCP を使用すると IP アドレスの管理が簡単になりますが、本製品を含め各 DHCP クライアントが使用する IP アドレスが固定でなくなります。本製品の場合、本製品の IP アドレスが変わると印刷をするパソコンの印刷用設定を変更する必要があります。（各パソコンの印刷用設定時に本製品の IP アドレスを指定する場合）このような事態を避けるため、DHCP サーバの中には IP アドレスの予約ができるようになっているもの（例：Windows 2000 サーバおよびWindows NT サーバなど）がありますので、予約ができる場合は、DHCP サーバ設定時に本製品の IP アドレスを予約してください。



注意！

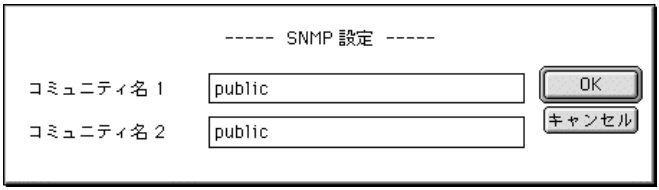
ネットワーク上に WINS サーバが存在し、WINS による名前解決を行える環境で、以下の場合は IP アドレスの予約を行う必要はありません。

- **[SMB 設定]で[WINS を使用しない]のチェックを外している（33 ページ）**
- **[TCP/IP 設定]で[DHCP を利用してアドレスを自動設定する]にチェックしている（上記画面）**

3. SNMP を設定する

[セットアップ]メニュー→[SNMP]をクリックし、本製品側のSNMP設定を行うことができます。
特に変更する必要はありません。[キャンセル]ボタンをクリック後、次ページへお進みください。

なお、この設定は、本製品と「Windows版設定ツール」がSNMP通信するときのための設定です。



コミュニティ名1	本製品のSNMPコミュニティ名を設定できます。
コミュニティ名2	本製品のSNMPコミュニティ名を設定できます。

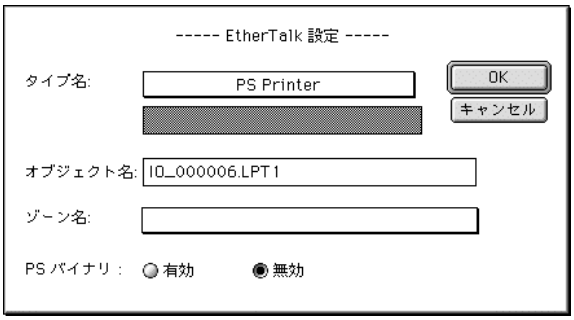
参考

[SNMP]とは

→SNMP とは、簡易ネットワーク管理プロトコル（Simple Network Management Protocol）の略称で、ネットワーク上にある様々な機器を管理できる標準プロトコルです。
SNMP は、SNMP マネージャと SNMP エージェントから構成されています。基本的には、SNMP エージェントは管理されている機器に搭載されており、SNMP マネージャはエージェントから情報を得ます。マネージャおよびエージェントは、MIB（Management Information Base）と呼ばれる管理情報を持っており、この管理情報を基にして機器の管理を行います。

4. EtherTalk を設定する(プリンタ名以外)

[セットアップ]メニュー→[EtherTalk]→[ポートの設定]では、本製品を接続したプリンタのタイプ名などを設定することができます。
ご使用のプリンタやネットワーク環境に応じて設定してください。



・設定を変更しない場合

[キャンセル]ボタンをクリック後、29ページへお進みください。

・設定を変更した場合

設定後、[OK]ボタンをクリックします。
「設定が変更されました。……・」の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリック後、29ページへお進みください。

タイプ名	本製品に接続したプリンタ用のプリンタドライバをリストから選択します。(28ページ【[タイプ名]に関する注意】も参照してください。)
オブジェクト名	Macintoshのセレクタ上から見えるプリンタ名であり、任意に設定できます。 ※オブジェクト名として使用できるのは以下の文字以外のASCII文字で長さ32文字以内です。 =(イコール)、 *(アスタリスク)、 ~(チルダ)、 @(アットマーク)、 :(コロン)
ゾーン名	ご使用になる環境にゾーンが設定されている場合は、本製品が所属するゾーンを割り当てることができます。

PSバイナリ	[タイプ名]で[PS Printer]を設定しているときに本項目[PSバイナリ]の設定内容が有効になります。 [有効]:バイナリデータを印刷できます(ASCIIデータも印刷できます)。 [無効]:ASCIIデータのみとなります。 ※TBCP非対応のプリンタに対して、PSバイナリを[有効]にして印刷すると、正常に動作しません。 ※本製品はBCPには対応していません。



参考

[ECP]、[PS バイナリ]、[TBCP]、[BCP]、[Nibble]、[Compatible]、[ASCII]、[バイナリ]とは

→ECP とは、

ECP(Extended Capability Port)は HP(ヒューレットパッカード)と Microsoft の 2 社より提案され、IEEE1284 で標準化されている規格です。データ圧縮転送(RLE)をサポートし、高速な転送が可能です。

→PS バイナリとは、

PostScript を使用して印刷データをバイナリで処理します。
別に[PS アスキー]も存在し、PostScript を使用して印刷データを ASCII で処理します。印刷に時間がかかります。

→TBCP とは、

TBCP(Tagged Binary Communications Protocol)はタグ付きバイナリ通信プロトコルです。BCP と互換性はありません。タグを使用して、送信側と受信側を接続し、通信を行います。ASCII より高速に印刷する事ができます。

→BCP とは、

BCP(Binary Communications Protocol)は 8 ビット値で表現できる任意の 256 種類のデータを転送する事ができます。バイナリイメージを含んだ PostScript ジョブの送信に一連の制御文字を含むデータを送信する事ができます。ASCII より高速に印刷する事ができます。

→Nibble(ニブル)とは、

Compatible を双方向に対応させたパラレルポートのモードです。

→Compatible(コンパチブル)とは、

片方向(出力)のみ通信可能な低速なパラレルポートのモードです。

→ASCII(アスキー)とは、

ASCII コードのみで記述されているテキストファイルなど

→バイナリとは

アプリケーション独自のデータなどで構成されるファイルなど

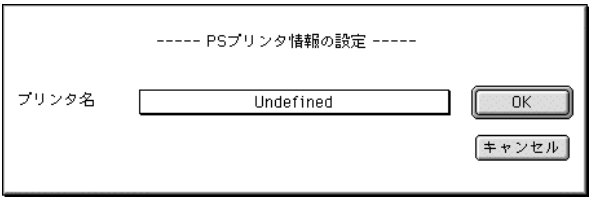
[タイプ名]に関する注意

ここでは、設定する[タイプ名]に関する注意を説明します。

使用プリンタ	設定内容など
PostScript プリンタ	[タイプ名]リストから[PS Printer]を選択します。 ***【注意】*** [PSバイナリ]が[無効]の場合は、PostScriptプリンタへのデータ出力はASCIIデータのみに限られます。
ESC/Pプリンタ	EPSON製のVPシリーズのAppleTalk対応プリンタドライバをインターネットなどからダウンロードして使用してください。
EPSON製ESC/Pageプリンタ	EPSON製LP-8200以前のプリンタは、以下の3種類のプリンタドライバに対応しています。 [AT-T1ESC/Page]、[AT-T2ESC/Page]、 [AT-T3ESC/Page] これらを使用する場合は、[タイプ名]リストからプリンタドライバと同じ名前を選択します。 LP-8200以降は[AT-EP3Page]に対応しています。
EPSON製カラーインクジェットプリンタ	本製品は、以下の2種類のプリンタドライバに対応しています。 [AT-MJColor]、[EPSON MJ/PM(AT)] このプリンタドライバを使用する場合は、[タイプ名]リストから[AT-MJColor]を選択します。 ***【注意】*** [AT-MJColor]に設定した場合、EPSON製マッハジェットプリンタ以外ではプリンタのジョブランプが点滅し、本製品の電源を切ると印刷を実行しなくても 紙が排出されます。 これは、[AT-MJColor]で印刷するためのコマンドが印刷されるためです。動作異常ではありませんので、本製品の設定を確認して正しい設定を行ってください。
キャノン製LIPSプリンタ	本製品は[PrintCaddie]というプリンタドライバに対応しています。 このプリンタドライバを使用する場合は、[タイプ名]リストから[LaserShot AppleTalk]を選択します。
Macintoshでは使用しない場合	[タイプ名]リストから[Set EtherTalk inactive]を選択します。
上記以外のAppleTalk対応プリンタ	[タイプ名]リストから[User Setting]を選択してタイプ名を直接入力すると使用できるものもあります。

5. プリンタ名を設定する

[セットアップ]メニュー→[EtherTalk]→[プリンタの設定]では、本製品を接続したプリンタの[プリンタ名]を選択します。



・設定を変更しない場合

[キャンセル]ボタンをクリック後、33ページへお進みください。

・設定を変更した場合

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

「設定が変更されました。……」の画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリック後、33ページへお進みください。

プリンタ名	[タイプ名]項目(26ページ参照)で[PS Printer][AT-MJColor]を選択した場合には、ご使用になられるプリンタの機種をリストから選択します。 (次ページ【[プリンタ名]に関する注意】も参照してください。) ※[パラレルポートの動作モード]項目(44ページ参照)を[ECPモード]または[Nibbleモード]に設定している場合はプリンタの情報を自動的に取得することがあります。その場合は変更しないでください。

[プリンタ名]に関する注意

本製品に接続するプリンタが PostScript プリンタ、または EPSON 製カラーインクジェットプリンタおよび EPSON 製レーザプリンタの場合はプリンタの機種名を設定しなければ、印刷できない場合があります。それ以外のプリンタを使用する場合はこの項目を設定する必要はありません。

使用するプリンタ	設定内容など
PostScriptプリンタ	[プリンタ名]リストの中に使用するプリンタがある場合は選択します。 ***【注意】*** [PSバイナリ]項目(27ページ参照)が[無効]の場合は、PostScriptプリンタへのデータ出力はASCIIデータのみに限られます。 *【参考】* リストにないプリンタ、またはハードディスクにオプションのフォントを追加しているプリンタを使用する場合は情報の取得を行う必要があります。次ページ【参考:プリンタの情報取得】も参照してください。
EPSON製カラーインクジェットプリンタ	[プリンタ名]リストの中に使用するプリンタがある場合は選択します。 ***【注意】*** プリンタが双方向通信可能な設定になっており、本製品の[パラレル動作モード]項目(44ページ参照)をAUTO/ECPモード/Nibbleモードにし、プリンタ→本製品の順に電源を投入した場合、プリンタ名を双方向通信にて取得します。その場合は[プリンタ名]項目を設定する必要はありません。
EPSON製レーザプリンタ	レーザプリンタの場合、ほとんどが[プリンタ名]項目を設定する必要がありません。 プリンタが双方向通信可能な設定になっており、本製品の[パラレル動作モード]項目(44ページ参照)の設定がAUTO/ECPモード/Nibbleモードに設定されていることを確認してください。

参考:プリンタの情報取得

[設定ツール]のリストにない PostScript プリンタまたはハードディスクに追加のフォントをダウンロードしている PostScript プリンタを使用する場合は以下の手順でプリンタ情報の取得を行ってください。



注意！

- **AirMac 対応 Macintosh のみの環境では、この手順はご利用いただけません。**
- **以下の手順を行うには、アクセスポイントと有線 LAN 接続でき、かつ、LocalTalk ポートを持った Macintosh が必要です。また、プリンタにも LocalTalk ポートが必要です。（詳細については、Macintosh およびプリンタの取扱説明書またはメーカーにお問い合わせください。）**
- **設定ツールの[プリンタ名]リストに載っていない PostScript プリンタで、そのプリンタの持っているフォントがあらかじめ本製品の持っているフォント情報と一致する場合のみ設定可能です。**

1 PostScriptプリンタおよび本製品の電源を入れます。

2 LocalTalkポートを持つMacintoshを有線LANでアクセスポイントに接続します。

3 **2**の手順で準備したMacintoshとPostScriptプリンタをLocalTalkケーブルで接続します。この時、MacintoshのLocalTalkポートにはプリンタのみを接続してください。

4 設定用パソコンで、アクセスポイントと本製品を通信できるように設定します。（[Infrastructure]モード）



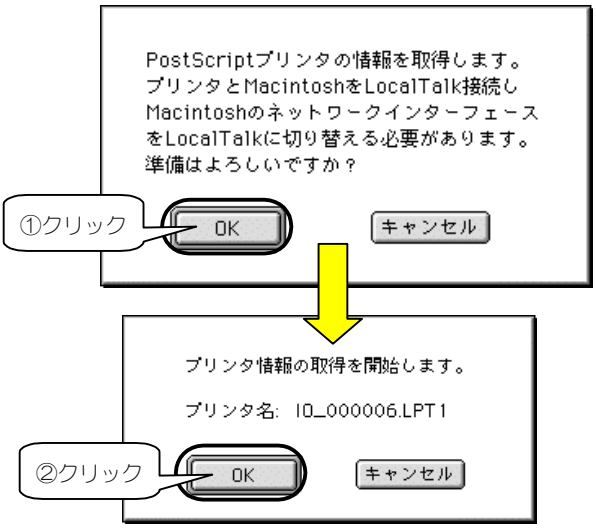
参考

アクセスポイントについてはアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

5 **3**の手順で準備したMacintoshに、本製品の[設定ツール]をインストールし、設定ツールを起動後、本製品を設定できる状態にします。
（【1. 設定画面を起動する】(18ページ)の**1**～**6**の手順）

6 [アップルメニュー]→[コントロールパネル]内の[AppleTalk]をクリックし、[経由先]を[LocalTalk]に変更します。

7 設定ツールの[セットアップ]メニュー→[EtherTalk]→[PSプリンタ情報の取得]で、本製品を接続したプリンタに関する情報を取得します。



8 [アップルメニュー]→[コントロールパネル]内の[AppleTalk]をクリックし、[経由先]を[EtherTalk]に変更します。

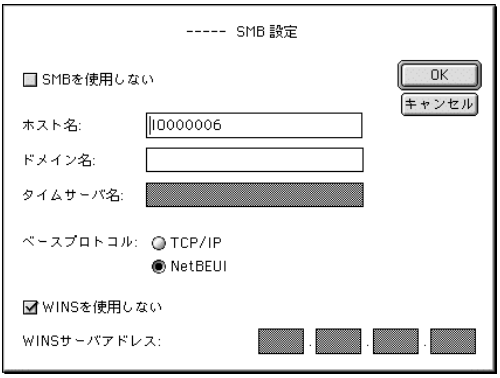
9 設定ツールの[セットアップ]メニュー→[EtherTalk]→[取得した情報の設定]を選択します。

10 設定終了後、確認のための画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

以上でプリンタの情報取得は終了です。

6. SMB を設定する

[セットアップ]メニュー→[SMB]では、本製品のSMB設定することができます。
ご使用のネットワーク環境に応じて設定してください。



・設定を変更しない場合

[キャンセル]ボタンをクリック後、37ページへお進みください。

・設定を変更した場合

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

「設定が変更されました。……・」の画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリック後、37ページへお進みください。

注意！

ご使用のネットワーク内に Windows パソコンがない場合など、SMB をご使用にならない場合は、必ず「SMB を使用しない」をチェックしてください。（36 ページも参照してください。）

参考

[SMB]とは

→SMB（Server Message Block）とは、Windows でネットワークを通じてファイル・プリンタ共有を実現するプロトコルです。

SMBを使用しない	チェックすると、SMBの機能を停止することができます。
ホスト名	ネットワーク上での本製品の名称を指定してください。 （半角英数字15文字以内） ※他の機器と同じ名前を使用することはできません。 必ず固有の名前を指定してください。
ドメイン名	使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。 （半角英数字15文字以内） ドメイン管理を使用していない場合は、特に入力する必要はありません。 ドメイン管理している場合は、使用するドメイン名を指定してください。
タイムサーバ名	本製品に設定したドメインのドメインコントローラを指定してください。（TCP/IP使用時のみ） タイムサーバ名を設定しなくても印刷には影響しませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。 Windows NT 4.0サーバおよびWindows NT 3.51サーバを使用していない場合やドメインの設定をしない場合は、このタイムサーバ名は無効です。 ※下位プロトコルでTCP/IPを選択した場合のみ設定可能です。
ベースプロトコル	SMBで使用する下位プロトコル(NetBEUIまたはTCP/IP)を選択します。
WINSサーバを使用しない	WINS を使用しない場合に、チェックしてください。 WINSをサポートしている環境では、WINSを有効にすることで本製品が起動時にWINSデータベースにホスト名とそのIPアドレスが自動的に登録され、ネットワーク内での名前の重複をさけることを可能にします。 ※ネットワーク上にWINSサーバが存在しない場合は、有効にする必要はありません。 ※Windowsでルータを越えた印刷を行う場合には、ルータアドレスとサブネットマスクを正しく設定する必要があります。（23ページ参照） （本製品を利用してMacintoshでルータを超えた印刷はできません。）

WINSサーバ アドレス	WINSを使用する場合には、WINSサーバのIPアドレスを設定する必要があります。 ※DHCPを使用してWINSサーバのIPアドレスを取得する場合は設定する必要はありません。(この場合には、DHCPを有効にする必要があります。) ただし、DHCPが有効であるにも関わらず、WINSサーバのIPアドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINSサーバのIPアドレスを直接設定する必要があります。



注意！

SMB の仕様上、印刷中に別のクライアントより印刷要求があった場合には、後から印刷したデータはエラーとなり印刷できません。前の印刷が終了した後、再度印刷を行う必要があります。



注意！

ホスト名、ドメイン/ワークグループ名、タイムサーバ名は、下記の半角記号は入力禁止文字です。入力された場合は、カーソルが先頭に戻りますが、これは設定ツール側で入力されないように処理を行っているためです。

“”(ダブルクォーテーション)、 “=”(イコール)、 “|”(パイプ)、 “¥”(円マーク)、 “+”(プラス)、 “; ”(セミコロン)、 “*”(アスタリスク)、 “:”(コロン)、 “]”(大カッコ右)、 “[”(大カッコ左)、 “,”(カンマ)、 “<”(不等号小なり)、 “>”(不等号大なり)、 “?”(クエスチョンマーク)

EtherTalk/SMBで使用しない場合の注意

本製品は起動すると、EtherTalk、SMB の仕様に基づき、定期的にパケットを送出します。これはネットワーク上で EtherTalk、SMB を使用していない場合にも行われます。(TCP/IP については、設定により起動時にのみ RARP/BOOTP/DHCP のパケットを送出します。起動後は要求がない限り送出しません。)
このため、本製品の接続されているネットワークが、ダイヤルアップ式のルータで他のネットワークに接続されている場合、これらのパケットが送出されるたびにダイヤルアップしてしまう可能性があります。(常時通話中になる場合もあります。)

ルータを越えた先に印刷する必要が無い場合や、EtherTalk を使用しない場合には、この現象を回避するために以下のどちらかの設定を行う必要があります。

・*ルータに本製品からのパケットを通過させないよう設定する。*
設定方法については、ルータのマニュアル等をご覧ください。



注意！

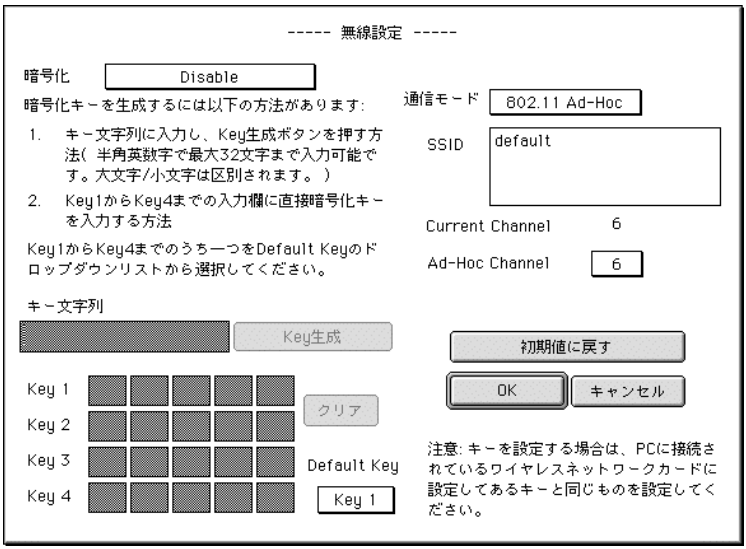
上記設定を行うと、ルータを超えた EtherTalk 経由の印刷はできなくなります。

・*本製品が、EtherTalk、SMB のパケットを送出しないよう設定する。*
・33 ページの画面で[SMB を使用しない]をチェックする
・別冊【リファレンス編】の【Web ブラウザから設定したい場合】の項を参照して、Web 上の設定ツールから[EtherTalk プロトコル]を[無効]に設定する
([無効]に設定すると AirMac および有線 LAN 上の Macintosh から印刷できなくなります。)

7. 無線設定をする

[セットアップ]メニュー→[無線設定]では、本製品の無線に関する設定をすることができます。

ご使用のネットワーク環境に応じて設定してください。



・設定を変更しない場合

[キャンセル]ボタンをクリック後、43ページへお進みください。

・設定を変更した場合

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

「設定が変更されました。……・」の画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリック後、43ページへお進みください。

暗号化	暗号化通信を行う際のWEP(Wired Equivalent Privacy)を設定した機器同士の認証手順の設定です。 現在、無線LANで使用している暗号キーの認証手順と同じ認証手順を設定する必要があります。 手順については、40ページ【暗号化の設定手順】を参照してください。
キー文字列	暗号キーを生成するためのキー文字列です。 現在、無線LANで使用している暗号キーのキー文字列と同じ文字列を入力する必要があります。 ※大文字/小文字は区別されます。 ※直接、暗号キーを[Key1]から[Key4]までの入力欄に入力する場合は、キー文字列を入力する必要はありません。
Key生成	暗号キーを生成するためのボタンです。 キー文字列からユニークな4つの暗号キーを生成します。
クリア	キー文字列、生成された暗号キー全てをクリアします。
Key1、Key2、Key3、Key4	キー文字列から生成された暗号キーを表示する欄です。 [Key1]から[Key4]までのユニークな4つの暗号キーが表示されます。 この入力欄には直接暗号キーを入力することもできます。 この場合も無線LANアダプタなどの通信相手側に設定されている暗号キーと同じものを入力する必要があります。 （暗号キーは16進数で入力する必要があります。）
Default Key	リストで表示される[Key1]、[Key2]、[Key3]、[Key4]の中から1つの暗号キーを選択します。 このとき無線LANアダプタなどの通信相手側に設定してある暗号キーと同じ暗号キーを選択する必要があります。 選択された暗号キーでデータを暗号化および復号化します。 ※[Default Key]（デフォルト送信キー）の設定の無いアクセスポイント（弊社製WN-B11/AXPなど）と通信する場合は、本設定を[Key1]に設定します。



注意！

弊社製アクセスポイント WN-B11/AXP では、Key1,Key2,Key3,Key4 という設定はありません。本製品と WN-B11/AXP や WN-B11/AXP と AirMac とで暗号化設定する際は、本製品の Key1 を使用してください。

通信モード	現在使用している無線LANの環境にあわせて通信モードを選択します。
SSID	SSID(Service Set IDentifier)は、無線LANを構成する装置同士(パソコン、本製品やアクセスポイントなど)を識別する名前です。 現在、無線LANで使用しているSSIDと同じSSIDを設定する必要があります。 (半角英数字32文字以内) 同じネットワークに属するクライアント(パソコン、本製品やアクセスポイントなど)同士は、同じ SSID を設定しなければなりません。 出荷時のSSIDは[default]です。 ※大文字、小文字は区別されます。
Ad-Hoc チャンネル	無線LANを構成する装置同士(パソコンや本製品など)を同じチャンネルに設定する必要があります。 現在使用している無線LANの環境にあわせてAd-Hocチャンネルを選択します。 ※チャンネルの設定は、[Ad-Hoc]モードの場合にのみ有効です。複数チャンネルが存在する環境の場合は、チャンネル同士を5つ以上離して設定してください。混信の恐れがあります。

初期値に戻す	本製品の無線設定を工場出荷状態に戻します。

暗号化の設定手順

1 [暗号化]リストから[Enable(Shared KEY)]または[Enable(Open System)]を選択し、暗号化を有効にします。

※ご使用のネットワークに合わせて選択してください。
（ネットワーク内で弊社製WN-B11/AXP、WN-B11/PCM、WN-B11/USB、WN-B11/PCIをお使いの場合は[Enable(Shared KEY)]を選択してください。）

※弊社製WN-B11/USBなど製品によっては、[Shared KEY]を[共有鍵]、[Open System]を[開放型]と表示・記載されている場合があります。



[Shared KEY]、[Open System]とは
→WEP を設定した機器同士の認証手順です。
Shared KEY はチャレンジテキストというものを使用して認証を行います。Open System はこれを使用しません。（Shared KEY の方が複雑な認証手順です。）
なお、Infrastructure モードでは、Shared KEY と Open System の間では通信できません。

2 現在、無線LANで使用しているキー文字列と同じキー文字列を入力します。
（直接、暗号キーを[Key1]～[Key4]までの欄に入力する場合は以下の***3***と***4***の手順は必要ありません。）

3 暗号キーを生成するために[Key生成]ボタンをクリックします。
キー文字列からユニークな4つの暗号キーが生成されます。

4 使用する暗号キーを[Default Key]ドロップダウンリストで表示される[Key1]～[Key4]の中から1つ選択します。選択した暗号キーは、データの暗号化および復号化に使用されます。

5 [OK]ボタンをクリックして暗号キーを設定します。

AirMacと本製品での暗号化の設定

AirMac と本製品とで暗号化通信を行う場合は、以下の 2 通りの方法があります。



注意！

AirMac のパスフレーズ（文字列から暗号生成）での設定では、本製品と暗号化通信を行うことはできません。
必ず以下のいずれかの手順で行ってください。

方法1：ASCII 5文字で行う方法

AirMac 側の設定	本製品側の設定
文字列の前後を ”” で囲んで設定します。 例）　”12345”	AirMac 側に設定した文字列の ”” 以外を 1 文字ずつ 16 進コード（次ページ参照）に変換して設定します。 右の例 ”12345” の場合、本製品の[キー文字列]欄には、以下を入力します。 31 32 33 34 35

方法2：16 進 10 桁で行う方法

AirMac 側の設定	本製品側の設定
10 桁の 16 進数の先頭に $（ドルマーク）を付けて設定します。 例）$3132333435	AirMac 側に設定した $（ドルマーク）以外の 10 桁の 16 進数を設定します。 右の例 $3132333435 の場合、本製品の[キー文字列]欄には、以下を入力します。 31 32 33 34 35

●*16進コード表*

文字	16進
!	21
″	22
#	23
$	24
%	25
&	26
’	27
(	28
)	29
*	2a
+	2b
,	2c
−	2d
.	2e

文字	16進
/	2f
0	30
1	31
2	32
3	33
4	34
5	35
6	36
7	37
8	38
9	39
:	3a
;	3b
<	3c

文字	16進
=	3d
>	3e
?	3f
@	40
A	41
B	42
C	43
D	44
E	45
F	46
G	47
H	48
I	49
J	4a

文字	16進
K	4b
L	4c
M	4d
N	4e
O	4f
P	50
Q	51
R	52
S	53
T	54
U	55
V	56
W	57
X	58

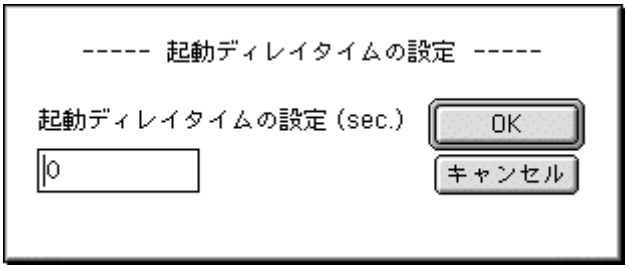
文字	16進
Y	59
Z	5a
[	5b
¥	5c
]	5d
^	5e
_	5f
`	60
a	61
b	62
c	63
d	64
e	65
f	66

文字	16進
g	67
h	68
I	69
j	6a
k	6b
l	6c
m	6d
n	6e
o	6f
p	70
q	71
r	72
s	73
t	74

文字	16進
u	75
v	76
w	77
x	78
y	79
z	7a
{	7b
|	7c
}	7d
~	7e

8. 起動ディレイタイムを設定する

［セットアップ］メニュー→［起動ディレイタイム設定］では、本製品の起動ディレイタイムを設定することができます。



・設定を変更しない場合

［キャンセル］ボタンをクリック後、次ページへお進みください。

・設定を変更した場合

設定後、［OK］ボタンをクリックします。

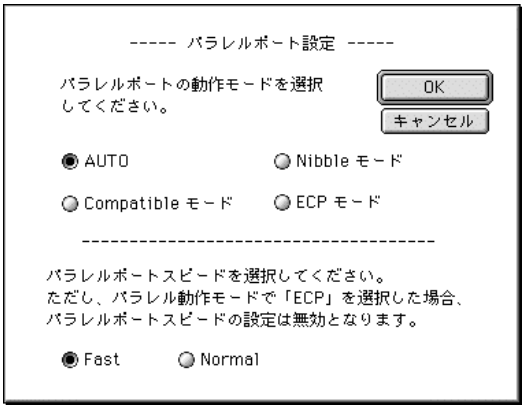
「設定が変更されました。……」の画面が表示されます。

［OK］ボタンをクリック後、次ページへお進みください。

起動ディレイの設定	本製品起動時の遅延時間の確認と変更を行います。 通常は変更する必要はありません。 設定値：0～240（秒） ※本製品とアクセスポイントを同じコンセントにしている場合では、本製品とアクセスポイントは同時に電源が投入されます。 この場合、本製品の方が先に起動しますので、この時にDHCPなどの関係で不都合が生じる場合、起動ディレイが有効な手段となります。

9. パラレルポートを設定する

[セットアップ]メニュー→[パラレルポート設定]では、本製品のパラレルポートに関する設定をすることができます。



・設定を変更しない場合

[キャンセル]ボタンをクリック後、46ページへお進みください。

・設定を変更した場合

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

「設定が変更されました。……」の画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリック後、46ページへお進みください。

パラレルポートの動作モード	本製品の電源を入れた時の、接続されているプリンタとの接続確認（ネゴシエーション）の設定変更ができます。 ※ECP/Nibbleをサポートしているプリンタと接続確認（ネゴシエーション）を行うためにはプリンタの電源が先に入っている必要があります。 ※本製品を[ECPモード]もしくは[Nibbleモード]に固定した場合は、プリンタが[ECPモード]もしくは[Nibbleモード]をサポートしていて、かつ、プリンタの設定と本製品の設定が一致している必要があります。この条件を満たさない場合は、接続確認（ネゴシエーション）エラーとなり印刷が行えません。

パラレルポート スピード	本製品のパラレルポートの転送速度を設定します。 パラレルポートへのデータの転送速度を2段階に設定できます。ただし、接続されているプリンタのパラレルポートの設定で「コウソク」などが選択できないプリンタの場合に、本製品の設定を［高速転送モード］に設定すると正常に印刷できないことがあります。 ※［パラレルポートスピード］の設定は、［パラレルポートの動作モード］の設定が、［ECPモード］の場合は無効です。



参考

［ECP］、［Nibble］、［Compatible］とは

→ECP とは、

ECP(Extended Capability Port)は HP（ヒューレットパッカード）と Microsoft の 2 社より提案され、IEEE1284 で標準化されている規格です。データ圧縮転送(RLE)をサポートし、高速な転送が可能です。

→Nibble（ニブル）とは、

Compatible を双方向に対応させたパラレルポートのモードです。

→Compatible（コンパチブル）とは、

片方向（出力）のみ通信可能な低速なパラレルポートのモードです。

10. バージョン情報を確認する

[セットアップ]メニュー→[バージョン情報]では、本製品のバージョンに関する情報を確認することができます。

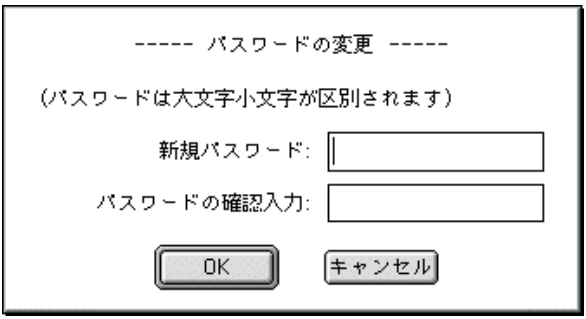
[OK]ボタンをクリックし、次ページへお進みください。



11. パスワードを変更する場合

[セットアップ]メニュー→[パスワードの変更]では、本ツールでのパスワード※を変更することができます。

※【1. 設定画面を起動する】(18ページ)の手順4で入力する文字列



・設定を変更しない場合

[キャンセル]ボタンをクリック後、次ページ【ステップ7】へお進みください。

・設定を変更した場合

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

「設定が変更されました。……」の画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリック後、次ページ【ステップ7】へお進みください。

注意！

パスワードは、英数字 15 文字以内まで設定できます。

参考

[パスワード]は管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定することを防ぐためのものです。必要に応じて[パスワード]を変更してください。
ただし、変更した場合は必ずメモなどして忘れないようにしてください。お忘れになった場合は、【本製品を出荷時状態に戻す場合】(49 ページ)を参照して、購入時の状態に戻すことにより、出荷時のパスワード[PLANT]を使用できるようになります。ただし、出荷時に戻した場合、すべての設定した内容が元に戻りますのでご注意ください。

ステップ 7

本製品の設定③
すべての設定を終了したら

すべての設定を終了したら、［設定ツール］の［設定］ボタンで更新した内容を本製品に反映させる必要があります。

変更した設定を本製品に反映させる

すべての設定を終了したら、［セットアップ］メニューの［プリントサーバのリセット］で変更した内容を本製品に反映させます。

注意！

・設定を変更した後、［プリントサーバのリセット］でリセットしないと本製品に設定が反映されません。設定を変更した場合は必ず［プリントサーバのリセット］を実行してください。
・設定を変更した後、リセットしないと本製品に設定が反映されません。設定を変更した場合は必ず以下の手順でリセットしてください。
・リセット後に再度本製品の設定を行う場合、「設定ツール」の画面を一度閉じ、再度［ファイル］→［開く］を選択して画面を表示させてください。
・リセット後、本製品が動作するまでに10秒以上かかります。

1 ［セットアップ］メニュー→［プリントサーバのリセット］をクリックします。

2 ［OK］ボタンをクリックして本製品をリセットしてください。



以上で本製品の設定は終了です。
本製品の設定をやり直す場合など、出荷時状態に戻したい場合は次ページを参照してください。

この後、パソコンから実際に印刷するための設定を行います。
【第3章　印刷する】(53ページ)へお進みください。

本製品を出荷時状態に戻す場合

本製品の設定をもう一度やり直すなど、本製品を購入時の状態（出荷時状態）の設定に戻す方法には、以下の２つの方法があります。

注意！

本製品を工場出荷時の状態に戻すと、変更した設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。【ステップ3】(10 ページ)以降を参照して最初からすべて設定し直してください。

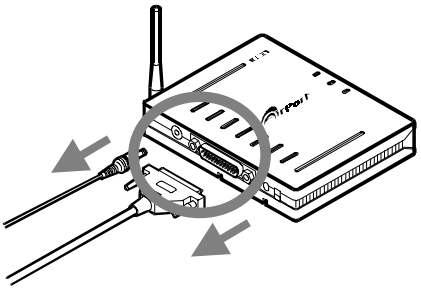
方法1：[TEST]ボタンで出荷時状態に戻す方法 → 以下参照
方法2：[設定ツール]で出荷時状態に戻す方法 → 52 ページ参照

[TEST]ボタンで出荷時状態に戻す方法

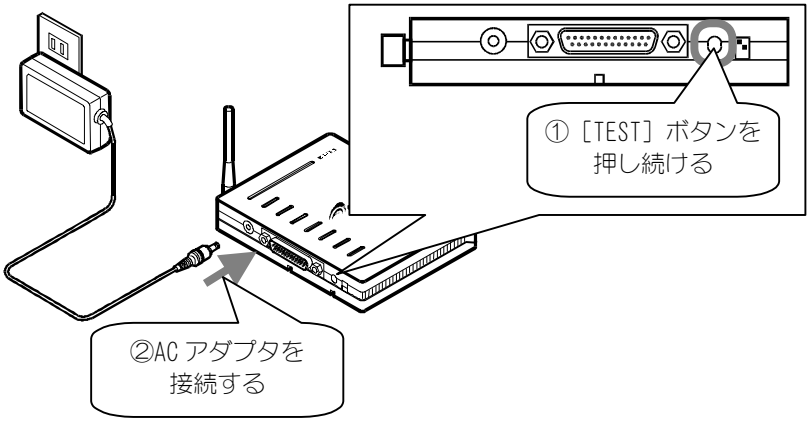
本製品背面の［TEST］ボタンで直接本製品を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1 本製品を使って印刷していないことを確認します。

2 本製品からACアダプタやプリンタケーブルを取り外します。



3 [TEST]ボタンを指で押しながら、
ACアダプタを接続(本製品の電源を入れる)します
※[TEST]ボタンは[POWER]ランプのみが点灯するまで押し続けます。



4 最初にすべてのランプが点灯します。
[POWER]ランプのみが点灯するまで、[TEST]ボタンを押し続けてください。

注意！

ランプがすべて点灯し、[POWER]ランプ以外のランプが消灯するまでに約10秒ほどかかります。

5 [POWER]ランプのみが点灯したら設定終了です。
再度、ACアダプタを取り外し、本製品とプリンタをプリンタケーブルで接続します。

注意！

必ず、本製品の電源を切った状態(AC アダプタを取り外した状態)でプリンタと接続してください。

6 プリンタとの接続後、ACアダプタを接続し、本製品の電源を入れてください。



参考

本製品を工場出荷時の設定に戻した後、AirMac などから本製品と通信を行う前にテスト印字を行った場合、[6. Current Status]欄には何も印字されません。

以上で本製品を出荷時状態に戻す設定は終了です。
【ステップ3】(10ページ)以降を参照して、再度設定し直してください。

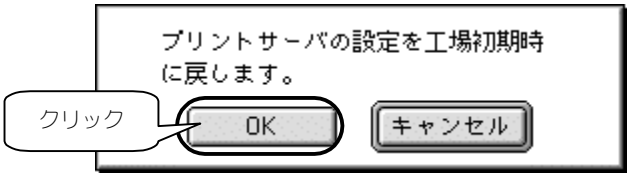
[設定ツール]で出荷時状態に戻す方法

[設定ツール] から本製品を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1 [設定ツール]を起動します。
(【1. 設定画面を起動する】18ページ参照)

2 [セットアップ]メニュー→[工場出荷時の設定に戻す]をクリックします。

3 [OK]ボタンをクリックします。



注意！

[OK]ボタンクリック後、本製品が正常に動作するまでに 10 秒以上かかります。

参考

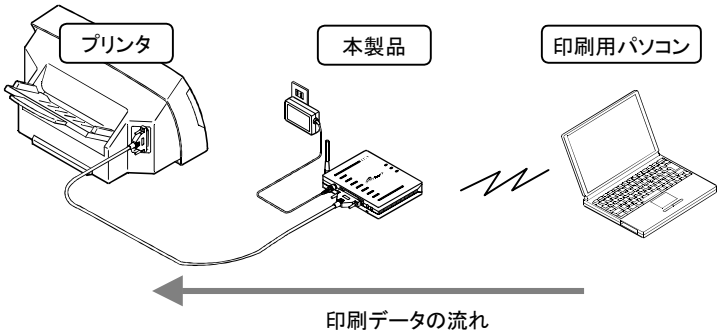
本製品を工場出荷時の設定に戻した後、AirMac などから本製品と通信を行う前にテスト印字を行った場合、[6. Current Status]欄には何も印字されません。

以上で本製品を出荷時状態に戻す設定は終了です。
【ステップ3】(10ページ)以降を参照して、再度設定し直してください。

第3章

印刷する

この章では、Macintoshから印刷する場合の設定方法を説明します。
設定は、印刷するすべてのパソコンで行う必要があります。（設定用パソコンから印刷する場合も設定が必要です。）



印刷するまでの設定の手順

以下のステップに従って、印刷を行うすべてのパソコンで設定し、実際に印刷してみてください。

ステップ1 ……【AppleTalk 対応プリンタを使用する際の注意点】(55 ページ)

AppleTalk 対応プリンタを使用する際の注意点を確認します。

ステップ2 ……【AppleTalk の経由先を設定する】(56 ページ)

印刷するパソコンの AppleTalk の経由先を設定します。

AppleTalk の設定



ステップ3 ……【無線 LAN を設定する】(57 ページ)

印刷するパソコンの無線 LAN を設定します。

無線 LAN の設定



ステップ4 ……【印刷するには】(62 ページ)

［セレクタ］を設定して実際に印刷してみましょう。

セレクタの設定



ステップ 1 AppleTalk 対応プリンタを使用する際の注意点

Macintoshには、使用するプリンタに適合したAppleTalk対応プリンタドライバをインストールする必要があります。インストール方法については各プリンタの取扱説明書をご覧ください。

ここではAppleTalk対応ドライバが付属されていないプリンタの内、本製品を接続する際に注意が必要なプリンタについて説明します。

使用するプリンタ	注意点など
CANON製LIPS プリンタ	本製品は新潟キヤノテック(株)社製プリンタドライバ(Print Caddie NetWare for Macintosh用 Ver2.1以上)に対応しています。Print Caddieに関してはプリンタ販売店にお問い合わせください。
ESC/Pプリンタ	ESC/Pモード搭載プリンタに出力する場合は、EPSON製VPシリーズのAppleTalk対応プリンタドライバをインターネットなどから入手して使用してください。
EPSON製ESCP/ Pageプリンタ	本製品が対応しているAppleTalk対応ドライバは以下の4種類です。 ［AT-T1ESC/Page］、［AT-T2ESC/Page］、 ［AT-T3ESC/Page］、［AT-EP3Page］ これらのドライバはエプソン販売(株)より提供されており、インターネットなどを経由してダウンロードすることが可能です。詳しくはプリンタ販売店にお問い合わせください。
EPSON製 カラーインクジェット プリンタ	本製品が対応しているAppleTalk対応プリンタドライバは以下の2種類です。 ［AT-MJColor］、［EPSON MJ/PM(AT)］ このドライバはプリンタに付属されています。付属されていない場合はプリンタがAppleTalk対応であるかを販売店にお問い合わせください。

ステップ 2 AppleTalk の経由先を設定する

本製品を利用して印刷するには、印刷するパソコンの［AppleTalk］の［経由先］を設定する必要があります。

1 ［アップルメニュー］→［コントロールパネル］内の［AppleTalk］をクリックします。

2 ［経由先］を設定します。

・*AirMacカードを利用する場合*

［経由先］に［AirMac］を選択します。

※AirMacカードからアクセスポイント経由で使用する場合も［AirMac］を選択します。

・*有線LANアダプタからアクセスポイント経由で利用する場合*

［経由先］に［Ethernet］を選択します。



（AirMacカード使用時の選択例）

この後、次ページ【ステップ3】を参照して、無線 LAN を設定してください。

ステップ 3 無線 LAN を設定する

本製品を利用して印刷するには、AirMac カードあるいはアクセスポイントの以下の無線 LAN の設定を、本製品の無線 LAN の設定と同じ設定にする必要があります。

※設定用パソコンで、本製品を現在使用している無線 LAN の設定にすべて合わせて設定した場合は特に設定の必要はありません。

・AirMac カードから印刷する場合

AirMac ユーティリティで無線 LAN を設定します。
設定については、次ページを参照してください。

・アクセスポイント経由で印刷する場合

※本製品の[通信モード]を[Infrastructure]にしておく必要があります。

※AirMac カード→アクセスポイント→本製品経由で印刷する場合は、AirMac カードとアクセスポイントの設定をご確認ください。

設定項目	アクセスポイント側の設定内容
SS ID （ESS ID）	設定ツールで本製品に設定した SS ID を設定します。
暗号キー	設定ツールで本製品に設定した暗号キーを設定します。

アクセスポイントの設定方法については、お使いの製品の取扱説明書を参照してください。
また、本製品の無線 LAN の設定については、【7. 無線設定をする】（37 ページ）を参照してください。

確認および設定後、62 ページへお進みください。

AirMac カードの無線 LAN を設定する

AirMacユーティリティで無線LANを設定します。

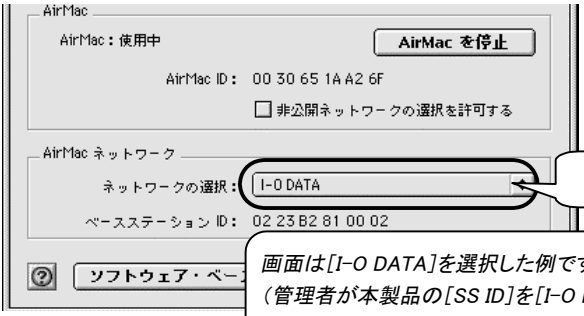
注意！

AirMac のバージョンによって通信モードが異なります。(【AirMac のバージョンを確認する】8 ページ参照)
AirMac 同士、および AirMac と本製品で通信モードが異ならないように AirMac のバージョンを統一してください。

1 [アップルメニュー]→[AirMac]をクリックします。



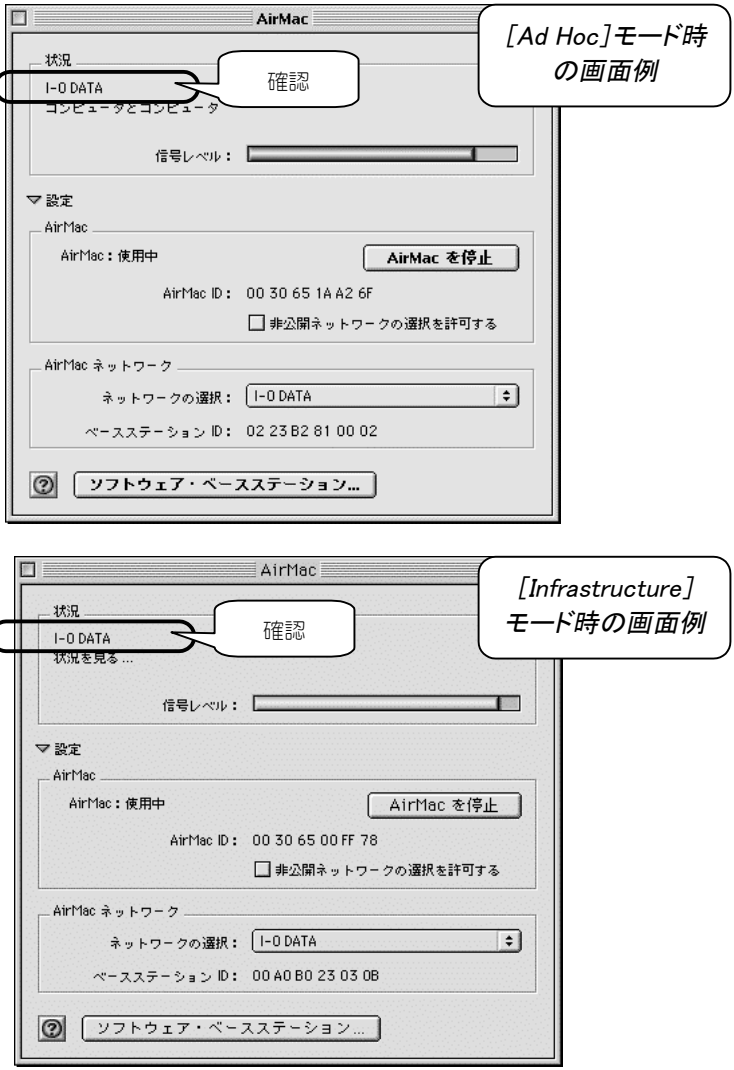
2 [AirMacネットワーク]内の[ネットワークの選択]で
管理者が設定ツールで本製品に設定したSS IDを選択します。



管理者が設定した SS ID を選択できない場合は…

60 ページをご参照ください。

3 [状況]内に本製品に設定したSS IDの表示があることを確認します。

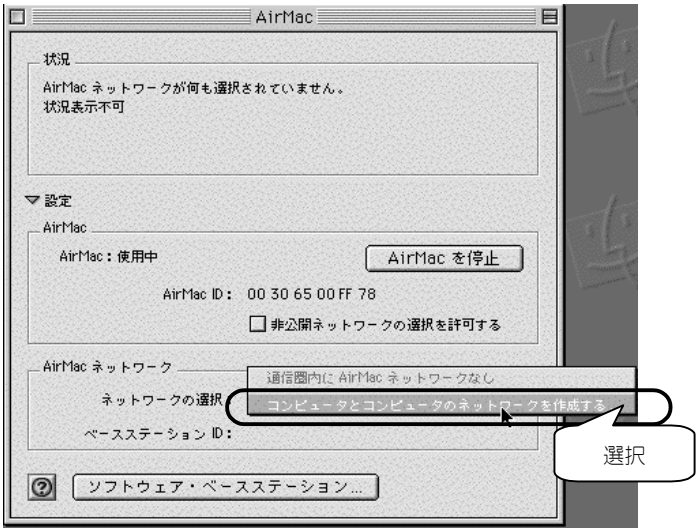


この後、【ステップ4】(62 ページ)を参照して、[セレクタ]を設定して実際に印刷してみてください。

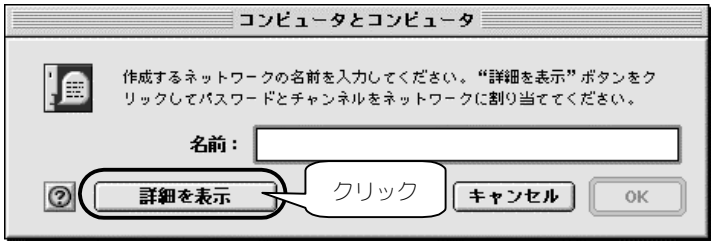
参考:[ネットワークの選択]でSS IDを選択できない場合

Ad Hocモードの場合、[ネットワークの選択] で本製品に設定したSS IDを選択できない場合があります。その場合は、以下の手順で [AirMacネットワーク] に追加設定を行ってください。

1 [AirMacネットワーク]内の[ネットワークの選択]で[コンピュータとコンピュータのネットワークを作成する...]を選択します。

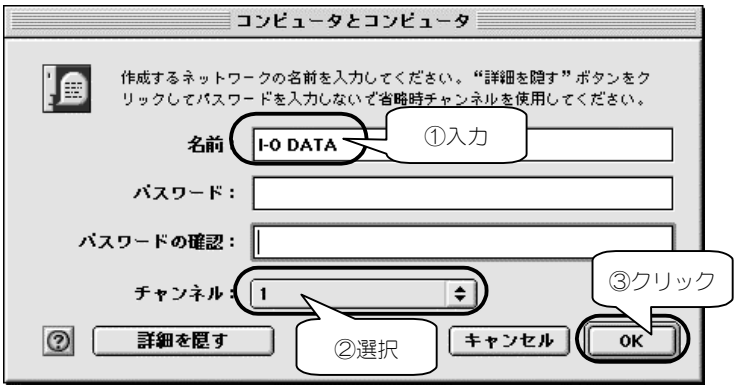


2 [詳細を表示]をクリックします。

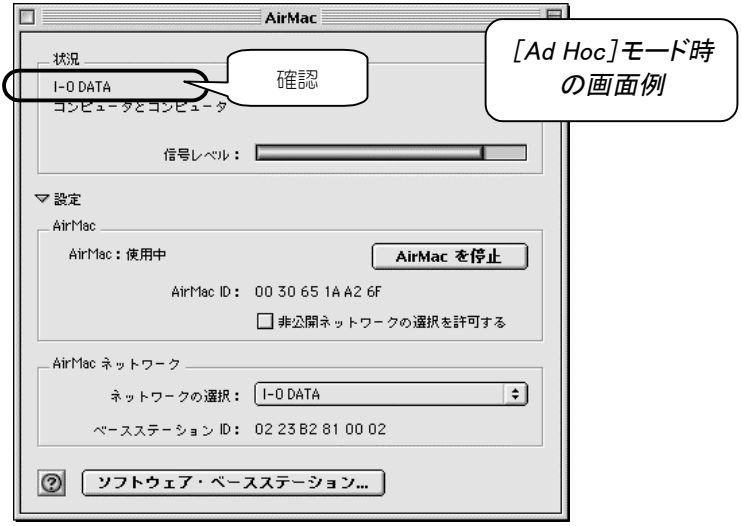


3 以下の設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

名前	本製品に設定したSS IDを入力します。 （出荷時は[default]）
チャンネル	本製品に設定したチャンネルを選択します。 （出荷時は[6]）



4 [状況]内に本製品に設定したSS IDの表示があることを確認します。



この後、【ステップ4】(62 ページ)を参照して、[セレクタ]を設定して実際に印刷してみてください。

ステップ 4

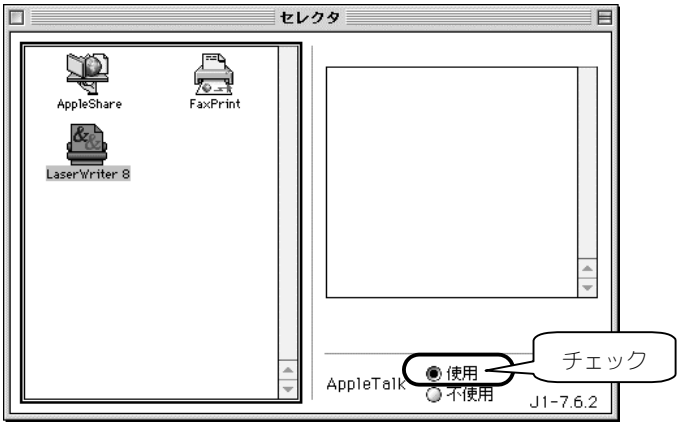
印刷するには

ここまでの設定がすべて終了したら、後は［セレクタ］を設定して実際に印刷してみましょう。

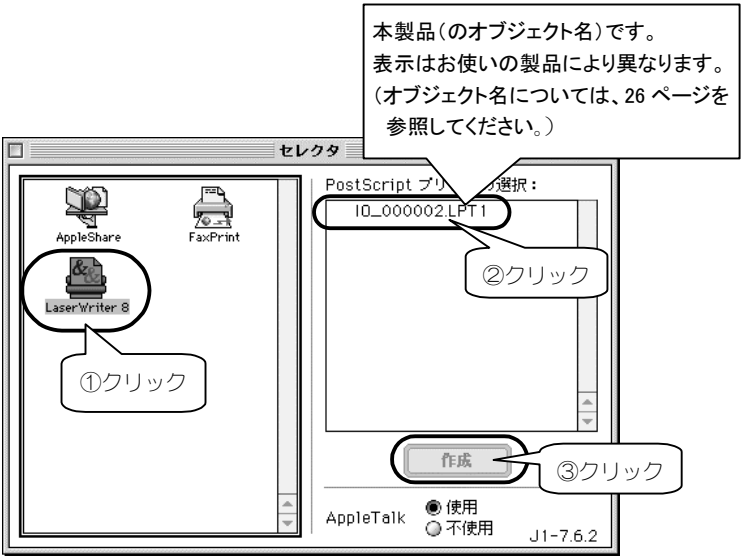
※以下は、LaserWriter 互換プリンタの場合の手順を説明します。

1 ［アップルメニュー］→［セレクタ］を順にクリックします。

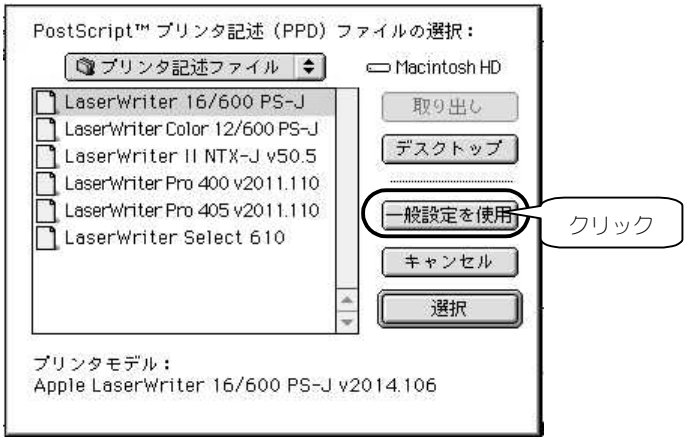
2 ［セレクタ］画面の［AppleTalk］の［使用］をチェックします。



3 [LaserWriter 8]アイコン、本製品(IO_xxxxxx.LPT1)を順にクリックし、[作成]ボタンをクリックします。



4 以下の画面で[一般設定を使用]ボタンをクリックします。



以上ですべての設定は終了です。
デスクトップ上にアイコンが追加されますので、印刷してみてください。

MEMO

付録 1

困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

設定用パソコンで設定時のトラブル

状態	参照ページ
[POWER]ランプ(緑色 LED)と[STATUS]ランプ(黄色 LED)が3秒に1度消灯する	66
[ERROR]ランプ(赤色 LED)のみが点灯している	
テスト印字されない	
テスト印字で1行目が文字化けする	
設定ツールの[プリントサーバ]欄に本製品が表示されない	67
設定ツールのパスワードを忘れた	
Mac OS Xのクラシック環境から設定ツールが使えない	
Macintosh から本製品のファームウェアのアップデートができない	

印刷時のトラブル

状態	参照ページ
Macintosh 用プリンタドライバはインストールしたのに、[セレクタ]に本製品が表示されない	68
Canon プリンタを使っていて、PrintCaddie も買ったがプリンタドライバを正常にインストールができない	
EPSON 製プリンタで、AppleTalk 対応ドライバを使っているがドライバの設定がうまくできない	
Macintosh からルータを超えて印刷できない	

設定時のトラブル

[POWER]ランプ(緑色 LED)と[STATUS]ランプ(黄色 LED)が3秒に1度消灯する

原因1	本製品がプリンタとの接続確認(ネゴシエーション)に失敗している
対処	プリンタの電源を入れてから、本製品の電源を入れるようにしてください。

原因2	エプソンのインクジェットプリンタで使用する際に本製品を[ECP]固定に設定している
対処	エプソンのインクジェットプリンタで使用する際には、本製品を[ECP]固定以外の設定に変更してください。(【9. パラレルポートを設定する】(44 ページ)参照)

[ERROR]ランプ(赤色 LED)のみが点灯している

対処	本製品の故障が考えられます。 弊社 PLANT コールセンターへお問い合わせください。

テスト印字されない

原因	プリンタドライバを必ず使用しないと印刷できないプリンタである
対処	プリンタの仕様によりテスト印字は行えません。(テスト印字はプリンタドライバを介さずに独自にプリンタを制御しているため)

テスト印字で1行目が文字化けする

原因	本製品の仕様です
対処	本製品のテスト印字では、PostScript プリンタでテスト印字をするための制御コードが含まれているため、PostScript プリンタ以外のプリンタでは文字化けしたような行が印刷されます。

設定ツールの[プリントサーバ]欄に本製品が表示されない

原因1	本製品の電源を入れる前に[設定ツール]を起動した
対処	一度[設定ツール]を終了し、プリンタや本製品の電源が入っていることを確認してから[設定ツール]を再度起動してみてください。

原因2	AppleTalk が有効になっていないか、または AirMac の設定がおかしい
対処	AppleTalkを有効にし、[経由先]を[AirMac]に設定してください。(【ステップ2】9ページ参照) また、AirMac のユーティリティで正しい無線 LAN 設定を行ってください。(【ステップ3】10 ページ参照)

原因3	本製品の[EtherTalk]の設定が無効になっている
対処	Web ブラウザか Windows 版設定ツールを使用して、EtherTalk を有効に設定してください。(詳細は別冊【リファレンス編】の【WEB ブラウザから設定したい場合】、または別冊【Macintosh 編】の【第 2 章　本製品を設定する】を参照してください。)

設定ツールのパスワードを忘れた

対処	弊社 PLANT コールセンターへお問い合わせください。

Mac OS Xのクラシック環境から設定ツールを使えない

対処	本製品は Mac OS Xには対応しておりません。

Macintosh から本製品のファームウェアのアップデートができない

対処	Macintosh から本製品のファームウェアのアップデートはできません。 別冊【リファレンス編】または別冊【Windows 編】を参照して、Web ブラウザ上から、または Windows 上からファームウェアをアップデートしてください。

プリンタ使用時のトラブル

Macintosh 用プリンタドライバはインストールしたのに、[セレクタ]に本製品が表示されない

原因	AppleTalk 対応ドライバを使用していない （「MacOS 用であること」と「AppleTalk 対応」とは異なります。）
対処	自分の使用したいプリンタに AppleTalk 対応ドライバが用意されているか確認してください。 あればそのドライバをお使いください。 無い場合は、プリンタメーカーにお問い合わせください。

Canon プリンタを使っていて、PrintCaddie も買ったがプリンタドライバを正常にインストールができない

対処	販売店または、新潟キヤノテック（株）にお問い合わせください。 ※弊社では、プリンタドライバに関するお問い合わせはお受けいたしかねます。

EPSON 製プリンタで、AppleTalk 対応ドライバを使っているがドライバの設定がうまくできない

対処	エプソン販売（株）にお問い合わせください。 ※弊社では、プリンタドライバに関するお問い合わせはお受けいたしかねます。

Macintosh からルータを超えて印刷できない

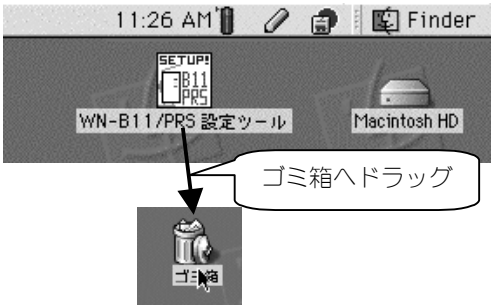
対処	本製品を利用して Macintosh からルータを超えて印刷することはできません。

付録2

設定ツールを削除する場合

ここでは、インストールした［設定ツール］の削除手順について説明します。
使用しなくなった場合や再度インストールし直す場合に行ってください。

デスクトップ上の[WN-B11/PRS設定ツール]を
[ゴミ箱]へドラッグします。



以上で[設定ツール]の削除は終了です。

Macintosh編（WN-B11/PRS）
2001.Sep.11　97966-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。